



Mラボの企業課題解決ラボ

神戸

学生らが中間発表

中小企業が抱える経営課題を大学のゼミ単位で調査研究する「課題解決ラボ」

の中間発表会が8日、神戸市中央区の神戸新聞社であった。写真（撮影・後藤亮平）。学生ら290人が商品

開発などをテーマに課題を報告。10月27日の最終発表会で成果を披露する。

課題解決ラボは、兵庫県内の中小企業と大学生の就職マッチングを支援する「Mラボ」（神戸新聞社など主催）の中核事業。6回目の今回は、10社と県内外11大学20チームが参加する。学生らは6月から企業訪問と経営者との意見交換で、研究テーマを探ってきた。

……NEXTに動画

この日は、ホテル運営のホロニック（神戸市東灘区）と組む関西大商学部の子葉貴宏ゼミが「定年退職などライフサイクルに組み込めるようなプランがあれば、リピーターを獲得できる」と報告。同社は「他のホテルにない付加価値のある提案をしてほしい」とコメントした。同大3年の櫻本大雅さん（21）は同市灘区。彼は「ホテルの強みなど改めて深く掘り下げないといけない」と話した。

（塩津あかね）